

伝助(送助) for Windows Ver.5.1

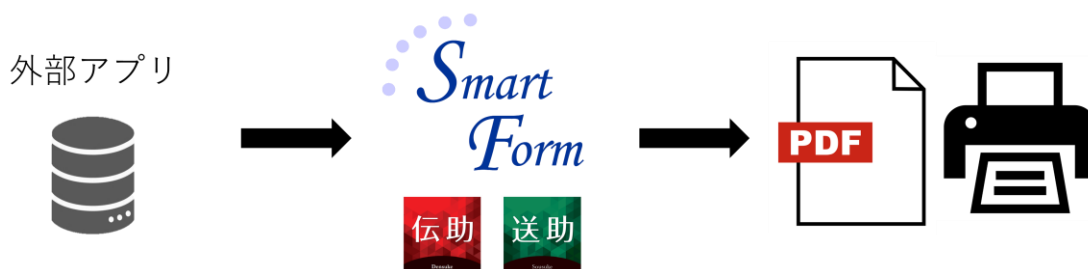


スマートフォーム (.NET 形式)

株式会社ヘキサード

1. 概要

SmartForm.NET は、株式会社ヘキサードが開発した .NET クラスライブラリです。対象製品（伝助／送助）と連携し、外部アプリケーションから渡された CSV または固定長形式のデータを内部データベースに変換し、設計済みの伝票や帳票などの印刷書式（以下、フォーム）をプリンタまたはファイル（PDF 等）に出力することが可能です。



2. 特徴／DLL 版との違い

- AnyCPU 対応により 32bit/64bit どちらのアプリケーションからも利用可能
- DLL 版の制約（システムフォルダからの実行など）が緩和され、配置の自由度が高い
- フォームの出力先としてファイル（PDF など）指定が可能（ただし制約あり）
- ユーティリティ機能によりプリンタやフォームの選択、ログ確認が可能
- DLL 版で利用していた Modes / Reserved が、.NET 版では InteractiveMode / ProductTypes に整理されている

	DLL 版	.NET 版
プラットフォーム	32 ビットのみ	AnyCPU
配置	システムフォルダのみ	どのフォルダでも OK
出力先	プリンタのみ	プリンタ／ファイル(PDF)
API	DLL エクスポート関数	SmartForm.NET クラスライブラリ (外部アプリから直接呼び出し可能)

3. 対象製品・動作環境

対象製品：

- 伝助 for Windows Ver.5.1.7 以降
- 送助 for Windows Ver.5.1.15K 以降

動作環境：

- Windows 10（22H2 以降）／ Windows 11（21H2 以降）
- Windows Server 2016／2019／2022
- .NET Framework 4.6 以降

4. 提供物

契約締結後、以下のファイル群が提供されます：

- Hexard.SmartForm.dll（ライブラリ本体）
- SmartForm_Reference.txt（API 仕様書）
- SmartForm_CLI.txt（コマンドライン仕様）
- SmartForm_Utility.txt（ユーティリティ仕様）
- SmartForm_Guide.txt（DLL→.NET 移行ガイド）
- SmartForm.txt（全体概要）
- Demo プログラム（ソースコード）

詳細 API 仕様およびサンプルコードは契約締結後に提供します。

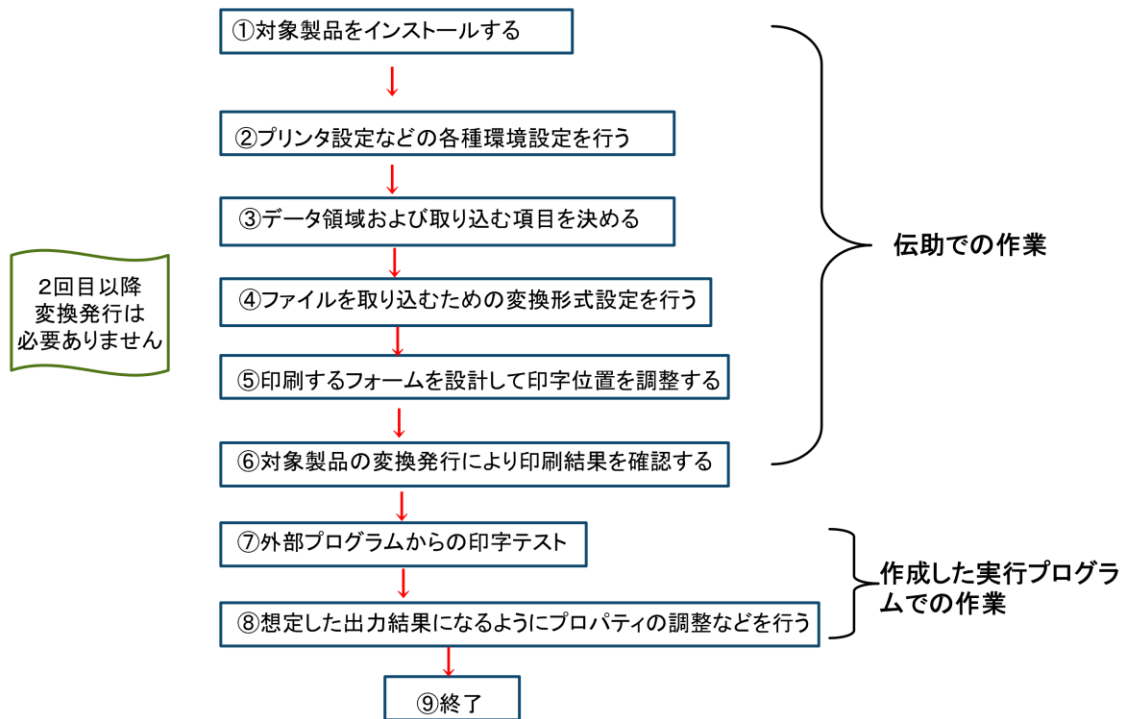
※本資料は契約前の概要説明資料であり、内容は予告なく変更される場合があります。

5. 導入手順

- 1) Hexard.SmartForm.dll を参照設定に追加
- 2) SmartForm クラスのインスタンスを生成
例: `new SmartForm(ProductTypes.Slip, 0)`
- 3) Active プロパティで連携可否を確認
- 4) 初回のみ ShowUtility にて基本設定を確認（フォーム・プリンタ・出力設定等）

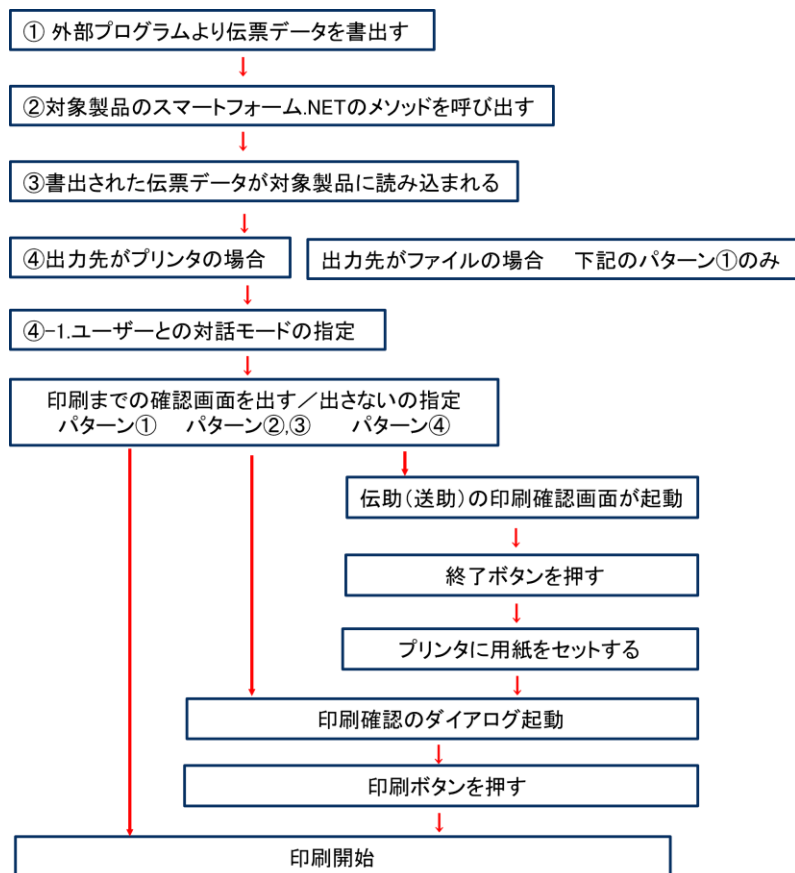
6. 設定および実行の手順

設定の手順：



⚠ 注意事項
NET版は「変換発行」で指定したファイル形式やファイル名、参照マスタなどの設定に依存しますので、プロパティやメソッドで改めて指定してください。

実行の手順：



■画面 1

InteractiveMode=InteractiveModes.Dialog
『印刷確認のダイアログ』

一括発行 - [フォーム1]

項目名	内容
伝票No	
得意先名1	株式会社へキサード
売上日付	2017年03月08日
請求先名	
売上合計	200,000
税額合計	16,000
総合計	216,000

印刷フォーム: プリンタの変更(P)...

X007 CS(ターナラウト型)連

印刷開始位置: 1 列 (1-1) 1 行 (1-1)

印刷 プレビュー スキップ キャンセル

※ Minimum / SimpleDialog モードではこの画面は表示されません。

InteractiveMode=InteractiveModes.Minimum

この定義にした場合、アプリケーション側で作成するテキストファイルに複数フォームコードがあってもフォームが切り替えのメッセージは表示しません。

1 回印刷単位で 1 種類のフォームコードを書出すような内容にしてください。

■画面 2

InteractiveMode=InteractiveModes.FormScreen

『伝票フォーム画面』

品名・規格	商品コード	色	サイズ	単位	数量	単価	金額	引当	原価	税額	備考
					1						
					2						
					3						
					4						
					5						
					6						
					合計						

『条件指定画面』

項目の条件(J)

売上日付 [] 年 [] 月 [] 日 ~ [] 年 [] 月 [] 日

請求日付 [] 年 [] 月 [] 日 ~ [] 年 [] 月 [] 日

受注日 [] 年 [] 月 [] 日 ~ [] 年 [] 月 [] 日

納品日 [] 年 [] 月 [] 日 ~ [] 年 [] 月 [] 日

伝票No [] ~ []

受注No [] ~ []

見積No [] ~ []

得意先CO [] ~ []

得意先名I []

請求先CO [] ~ []

摘要 []

フォーム01 [] ~ []

フォーム1 ☐ 発行済みの伝票も印刷する

伝票Noが7桁または10桁で区切って複数指定できます。指定すると項目の条件より優先されます。(項目の条件との併用はできません)

高度な条件(A) [] 参照(B) [] クリア(C) []

枚数確認(E) [] 実行 [] キャンセル [] ヘルプ []

■画面 3

InteractiveMode=InteractiveModes.SimpleDialog

『印刷確認のダイアログ』

項目名	内容
伝票No	
得意先名1	株式会社ヘキサード
売上日付	2017年03月08日
請求先名	
売上合計	200,000
税額合計	16,000
総合計	216,000

印刷フォーム: プリンタの変更(P)...

印刷開始位置: 列 (1 - 1) 行 (1 - 1)

プレビューとフォーム選択は選択できません。

7. API 概要

SmartForm クラスの主要なプロパティとメソッドは以下の通りです：

- プロパティ：Active, FileType, Forms, Printers, OutputDevice, InteractiveMode, UserMode など
- メソッド：Publish, ShowUtility

※プロパティ・メソッドの詳細仕様は契約後に提供します。

8. ユーティリティ

SmartForm.ShowUtility() を呼び出すことで、以下の設定確認・変更が可能です：

- データパス、プリンタ設定、発行モード、出力デバイス設定
- ログの確認

特に RDS 環境では UserMode の設定 (Single/Multiple) が重要です。

※ユーティリティの各設定内容は印刷動作に直接影響します。

9. エラーとログ

エラーは以下に分類されます：

- クラス内エラー：Publish 実行時の例外など
- ブリッジ内エラー：対象製品連携時の不具合（詳細はログ参照）

ログはユーティリティ画面から参照可能です。

10. 配置・配布上の注意

- DLL 版と異なり、.NET 版は呼び出しアプリと同じフォルダに配置すれば利用可能
- 対象製品（伝助／送助）がインストールされていることが前提

11. 契約・提供条件

本仕様書は機密保持契約および使用許諾契約の締結後に提供されます。

サポートはユーザーから直接ではなく、必ず開発会社様経由でお問い合わせください。